



取組みの主な進捗状況

生活のDX

この冬から除雪状況が「見える化」されます



県HP「みち情報ネットふくい」において、除雪車の走行軌跡など、除雪状況や道路情報を県民の皆様がご覧頂けるようになります。あわせて、市町の除雪車へのGPS導入を支援することで、県・市町間の除雪作業の効率化を図ります。

「ふく育パスポート」の利用を開始しました！

妊婦の方や子育て世帯の皆さまを応援する「ふく育パスポート」の利用が10月1日から開始されました。登録後、スマートフォンに表示されるパスポート画面を「ふく育応援団」登録店舗で表示することで、割引サービス等を受けることが出来ます。



産業のDX

「スマート田んぼダム」の実証を開始しました！



7月より、スマートフォンで水田の給排水栓を遠隔操作し、大雨時に水をためて洪水被害を軽減する「スマート田んぼダム」の実証事業を鯖江市舟枝町の水田で開始しています。今後も、安心・安全な生活に向けたDXを進めていきます。

ITスクールの短期集中コースが修了しました！

「ふくいITエンジニア養成スクール講座」の短期集中コース受講生15名が、約2か月間、300時間のカリキュラムをこなし、修了報告会に参加しました。デジタル人材としての今後のご活躍が期待されます。



行政のDX

ワクチン接種予約システムを職員が独自に構築



若年層向けワクチン接種の予約システムを県職員が独自に構築。利用者目線の簡易な申込みにより、約2,000名の方に利用いただき、予約受付の自動化により職員の負担が大幅に軽減されました。

海ごみ問題の解決を目指すアイデアソンを実施

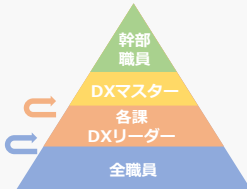
地域課題を市民と解決する取り組み（シビックテック）として、美浜町の「海岸の漂着ごみ問題」をDXで解決するアイデアソン*を実施しました。参加チームの提案を参考に、町が事業化も含め議論・検討しています。
*新しいアイデアを生み出すために行われるイベント



最近の県の動き

デジタルありきの業務遂行を推進します！

全職員を対象としたオンラインのDX研修やセミナー受講・ノウハウ共有等を進め、職員のデジタルリテラシー向上による県民サービスの向上を急ピッチで進めています。



DXリーダー（県庁全所属で選定した240名）は「オンライン研修会」受講によるノウハウの共有や、所属におけるDX目標設定など、デジタルありきの業務遂行を推進します。

県庁内でサービス向上・業務改善が一挙に進んでいます！

職員によるデジタルツールを活用した県民サービス向上・業務改善の取組みを庁内で収集・職員間で投票する「Microsoft いいね！ チャレンジ」を実施しました。



庁内から22事例の応募、職員より370件の投票がありました。特に、ワクチン接種予約受付やRPAによる業務効率化事例等に投票が多く集まり、今後も積極的に横展開・高度化を図っていきます。

RPAなど実践型の取組みを進めています！



RPAに集中的に取り組む「RPAキャンプ」を実施し、57所属80名が参加する等、全庁的な取組みが進んでいます。財務システムの自動入力など、職員自ら、学習・取組を進めています。

県下全市町とRPA活用をテーマにしたワークショップを実施しました。県で蓄積しているノウハウを共有し、県を挙げてのDXを進めてまいります。

